

2007年エコツアー in 道東報告書

エコ☆プロ企画担当兼エコツアー実行担当

○実施にあたって

実施にあたって、思ったような人数を集めることが出来なかった。これには、エコツアー実施にあたっての宣伝方法に問題があったと思われる。

1. 宣伝媒体

チラシが機械的であり、固い印象をあたえてしまった。より実施予定地の写真等を多く使い、目立つような文字で掲示したほうがよかったのではないかと思われる。

携帯電話によるメールでの送信で希望者を募集したが、それによる参加者はなかった。現在の社会構造から見て、携帯での勧誘方法は最も効率的で効果があるものであると考えられる。

そのため、携帯を使っての勧誘活動が実を結ばなかったのはそれを受け取った側の意識の問題が大きかったのではないかと思われる。

2. 変更点・決定事項

変更点が多すぎた。その日になってからの変更などがあり参加者を混乱させてしまった。また、決定事項の提示も遅れてしまった。特にシビアなどところでは金額点ではっきりとせず不透明なところが長く続いてしまったというところがあった。

●改善点

来年以降の実施にあたっての改善点としては、宣伝方法の確率と明確さを打ち出すということ、チラシの掲示場所を増やす、決定事項を前もって決めておく（特に金額の面）、携帯でのメールに詳しい内容をのせる、サークル以外の人にも参加してもらえるように人脈を使った宣伝活動を行う、と言ったものがあると思われる。

○実行時の反省点

今回実施してみて参加して頂いた方には多くの点でご迷惑をおかけした。

まず最も多かったのは宿泊に際しての食事である。キャンプ場を利用したということから自分たちでキャンプ用品を持参するのが通常であるが今回はレンタカーを利用したため一切の用品を持っていくことが出来なかった。そのためキャンプ場でのレンタルか周辺の商店で食事を購入するべきかの判断が直前に決めることになってしまった。

今後この点は、しっかりとした宿泊施設を利用するべきであるということをも再認識する結果となった。

次に、実施にあたっての移動時間がある。特に最終日にあたっては湿原観察の時間ぎりぎりの到着となってしまった。また、釧路駅到着については予定よりも大幅に早い時間の到着となってしまい、時間を持て余す結果となってしまった。移動時間を含め綿密な時間設定が必要であった。

○総括

今回のエコツアーを実施してみて、環境について学ぶという当初の目的は十分に果たせ

と思われる。問題となった点については、今後回を重ねて行くに従いより改善されていくと思われる。